

# 「デジタルサイネージコンソーシアム」設立趣意書

2007年6月

「デジタルサイネージ」とは、屋外や店頭、交通機関など、一般家庭以外の場所においてディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディアとします。

技術革新やメディアの多様化、企業のマーケティング活動の変化など、デジタルサイネージは大きな可能性を持ってきました。その一方で、デジタルサイネージを取り巻くビジネス環境は、未だに十分に整備されているとは言えず、メディアとして確立していく為の課題が明らかになりつつあります。より大きな市場の成長の為には、個別企業の試行錯誤を超えた解決が望まれる状況です。

幅広い広告主やコンテンツホルダーからデジタルサイネージに関する認知・理解を得て、市場を拡大していくために、関係する人々が幅広く一同に会し、共通の課題について協議・検討し、ビジネスルールを全体として整備していくことが必要であると考えます。

私達はデジタルサイネージビジネスの非常に大きな、また有意義な可能性を確信する一方、その社会的・経済的基盤の重要性を認識し、様々な共通課題を協議していく場としての「デジタルサイネージコンソーシアム」をここに設立し、ビジネス環境の整備に向けての努力を積極的に行っていきたいと思えます。

## 設立の目的

- ・ 市場創出、市場形成  
これまでの個別で散発的な市場をとりまとめ、共有するべき問題点の抽出と、その解決に向けた検討をおこないます。
- ・ 情報意見交換  
関係者間の情報共有をはかります。
- ・ 調査研究  
国内外の事例研究、報告、視察をおこないます。
- ・ 啓蒙活動  
広告主、コンテンツホルダー、インフラ所有者、市民、行政などデジタルサイネージのメディアとしての認知向上をはかります。

## 活動の概要

- ・ 媒体価値向上に向けた検討
- ・ 媒体評価、効果測定方法の研究および検討
- ・ 権利処理の検討および交渉
- ・ 倫理基準に関する検討
- ・ コンテンツ開発および検討
- ・ 技術研究および検討
- ・ 国内外の視察
- ・ 広報、啓蒙活動
- ・ 広告、メディア関連の他団体との交流
- ・ WEBサイト、メーリングリストの運営

## 参加企業

通信キャリア、メーカー、コンテンツホルダー、広告会社、マーケティング会社、商社、デベロッパーなどデジタルサイネージビジネスに関わるもの